

みんなで



# minnade

地域をみんなでデザインしよう



## [特集] 里山・谷津田を生かした暮らしの提案

「里山と住宅地が隣接している四街道ならではの楽しみ」

- ・ 生き物の息づかいが感じられる場所—栗山みどりの保全事業実行委員会
- ・ 「そこに住む人々に癒しを与え続ける自然」の維持継続  
—森林ボランティア 四街道フォレスト
- ・ 子どもの成長には自然が大切—NPO法人四街道メダカの会
- ・ 森林の荒廃を防ぎながら地域の役に立つ—あさひクヌギの里
- ・ 身近な里山に手を入れる—四街道里山の会

2014/03  
第2号

## 生き物の息づかいが感じられる場所



(上)作業の前の参加者全員で今日の作業の確認  
(右上)佐渡市長も参加したオープニングセレモニー  
(右下)下草を刈る作業は機械を使って



# 栗山みどりの保全事業実行委員会

市の北東部栗山地区の里山から水田につながる緩やかな道沿いには、手入れされた林が広がり、茂みや枝先には鳥のさえずりが聞こえてくる場所、それが栗山みどりの保全事業の場所です。

数十年前までは広葉樹を薪や農作業の材料として使い、水田では米作りが行われていた場所。年々放棄田が増え、林も荒れ始め保全について懸念されていたところでした。四街道市みどりの基本計画に基づき市民生活に潤いをもたらす里山の保全、自然と触れ合う憩いの場として保全が決定。平成二十四年からの調査、整備作業を経て、平成二十六年一月十五日には一部供用が開始されました。

栗山地区は市街地近郊の良好な樹木、里山、自然景観が一体的に存在する場所。事業区域は約四、八ヘクタールです。広がる雑木林とそれに続く斜面は市民だけでも行政だけでも手入は難しい状況でした。そこで、市民と行政の協働が必要になりました。事業実施はいくつもの市民団体で構成される「栗山みどりの保全事業実行委員会」。自然植生調査、基本計画の策定、伐竹や除草、散策路の整備、復元した水田の維持管理などを行っています。

保全事業入口すぐにはコナラやクヌギを中心とした落葉樹の林、そこからチップが敷き詰められた小道を下って

### 【実行委員会構成団体】

- ・NPO法人四街道メダカの会
- ・四街道フォレスト ・四街道自然同好会
- ・四街道をきれいにする会 ・水辺の会
- ・総合公園植生調査の会 ・四街道里山の会

### 栗山みどりの保全事業実行委員会

活動日 不定期ですのでお問い合わせください  
場 所 四街道市栗山地区  
運 営 栗山みどりの保全事業実行委員会  
問合せ 都市部都市計画課 ☎ 043-421-6141  
実行委員会代表 ☎ 043-432-8701(任海)



(右上) 調査のために見て回ります  
 (右下) 田んぼでは米作りも予定されています  
 (左上) 田んぼから保全地区を眺める  
 (左下) 手入れされた森

いくと、棚田を思わせる水田が広がります。まさに日本の里山風景そのもの。歩道脇に、大きな杉の木の皮が何か所もはがされている木を見つけました。これは森に住むリスが巣作りのためにはがした跡。小道にはモグラが動いた場所にできるこんもりした土の盛り上がり（もぐら塚）も見つけました。空には生態系を象徴する猛禽類ノスリが枝先にとまって獲物をさがしていました。まさに生き物の営みが行われ、その息づかいまでも感じられる場です。

代表である任海<sup>とうみ</sup>さんは里山全体を見渡しながら「あまり手を入れすぎず、ありのままの自然を残したい。そして暮らしの中にある自然を、そこに暮らす人が手入れし活用していったように、生き物と共生していける方法を探りながら手入れを続けていくことが願いです。」と話されました。

平成二十六年度は継続してコラボ四街道採択事業としての実施が決定しており、現在作業にあわせた各部会のメンバーと水田耕作者を募集中です。

みなさんの関心のあることに、少しずつ協力し関わっていくことで四街道の魅力ある場所を整備し守ることができるとのことです。

※平成二十六年度コラボ四街道採択事業

※活動場所については最終ページの活動地図参照

### 各部会のメンバー募集中

- 建設部会・・・林の除草、伐竹、散策路整備等担当
- 調査部会・・・保全地区内の動植物の生息、植生状況を調査し整備の場所を検討
- 水田部会・・・休耕田復元後の水田での田植えや稲刈りを担当
- 維持管理部会・・・場内パトロールをしてゴミの清掃等を担当

## 「そこに住む人々に癒しを与え続ける自然」の維持継続



(上) 整地のために竹の根を掘り起こしています  
 (左上) 大きい木を倒すために先に蔓を処理します  
 (左下) みそら小学校3,4年生が自然学習のため南波佐間の遊歩道に年4回訪れてくれます

森林ボランティア

# 四街道フォレスト

※活動場所については最終ページの活動地図参照

危険も伴いますが、整備した里山に四季折々に咲く花々や昆虫等との出会い、伐採した木々でクラフト作品を作るのも楽しみです。藤蔓やあけびの蔓を編んでカゴを作ったり、竹を利用してジョッキを作ったり、山椒の木ですりこぎを作るなど、アイデア次第で様々な製作が楽しめます。

フォレストの楽しみは、作業だけではなくありません。お昼はおにぎり持参です。現場でお湯を沸かし、みんなで一緒に食べるカップラーメンも格別です。

平成二十五年度は四街道里山の会さんと一緒に「栗山みどりの保全事業」建設部会としての作業が始まり、メンバーも気持ちを新たに活動に参加しています。

現在、登録メンバーは二十五名。一回の活動に約十六名が参加します。平成二十四年度は戸外での活動日数五十二日、延べ六百四十五人が活動に参加しました。

南波佐間では竹林を伐採し、子どもたちが自然とふれ合う「南波佐間の遊歩道」を整備しました。

「そこに住む人々に癒しを与え続ける自然」の維持継続のために何かしたい、という思いから平成十八年四月に設立されました。四街道の美しい自然を将来に継承するために、手入れのできない森林や竹林などを地権者の方々と相談し、整備・保全・活用しています。

平成25年6月 「大きなテーブル」へクラフト作品と収穫した農作物を出品し販売



### 四街道フォレスト

活動日 毎週火曜日と第4土曜日 9:30~15:00  
 場所 南波佐間・中台・内黒田・成山・栗山  
 運営 四街道フォレスト  
 問合せ ☎ 090-2642-4578 (代表 富所)

子どもの成長には自然が大切

# NPO法人四街道メダカの会



(上) 小名木川で生物調査 (右上) これから調査を始めます  
(右下) 川辺の観察

小名木川の水辺に子ども達の歓声が響きます。「何が採れた？」一生懸命に網の中をのぞく子どもたち。二〇一三年夏の水辺の探検隊のひとつコマです。四街道は小名木川、鹿島川、上手繰川などの水の流れが谷津田をかたちづくり、緑ゆたかな里山をつくりだしています。四街道に生息する在来のメダカの生息環境の保全、そして多様な生き物の再生のため自然を守るためにNPO法人四街道メダカの会は、平成十三年三月に設立されました。

メダカの会は、環境省の『モニタリングサイト一〇〇〇里地調査』に協力しています。ムクロジの里において、植物相、鳥類、カヤ、ネズミ、カエル類、チョウ類、ホタル類を統一された方法で子ども達と共に調査し、その長期的な生態系の変化を捉える基礎データを提供しています。子ども自然科学教室や中央小学校の水草探検隊などの活動と共に、水辺周辺の人々との交流も大切です。

会の代表任海さんは「四街道を良い所にしていきたい。子どもの成長には自然が大切。子ども達に自然を体験させ、自然の中で育てることができれば…」「いつの日か小名木川の清流化を実現したい。一歩ずつ前進していきたい」と語りました。

※活動場所については最終ページの活動地図参照



## NPO法人四街道メダカの会

活動日 毎月第4日曜日 午前中

場所 市内河川など

問合せ ☎ 043-432-8701 (任海)

ホームページ <http://www.geocities.co.jp/Natureland-Sky/4616/>

森林の荒廃を防ぎながら地域の役に立つ

# あさひクヌギの里



- (上) 炭焼きの前にみんなで集まり説明を聞きます  
(下) 火を入れて2,3時間経つと窯の蓋を閉めます  
(左) 竹炭を作るための竹

平成十四年から四街道市の東部にある南波佐間（なばさま）で炭焼きを行って「あさひクヌギの里」山林の荒廃を防ぎたいとの思いで始まりました。里山の手入れで生まれる竹材や広葉樹材を炭や木酢液の原料とすることで里山の保全と活用が可能になります。

炭焼きを行うには炭にする竹や木をある程度切りそろえます。そして、釜の準備をし火を入れます。会員が集まる日は出来上がった炭をみんなで取り出す作業を行います。炭は生活の中でも様々な場面で活用できるので市内のイベントで販売しても人気があります。

また木酢液は炭焼き時に副産物としてできる、茶色の液体です。木酢液も薄めて植物に散布すると虫よけになるなど実際に使った人から嬉しい声が届いています。

代表の中台さんは「炭焼きによる循環型社会を構築することで里山を守りたい」と語っていました。

クヌギの里の活動は、毎月一回、約二十名の会員が集まって炭焼きを行います。会員の平均年齢は約七十歳、女性は五名前後。現会員の紹介によって初めての方も参加できます。

※活動場所については最終ページの活動地図参照

できたての炭と木酢液



## あさひクヌギの里

活動日 毎月第3日曜日  
場所 南波佐間 クヌギの里  
問合せ ☎ 080-1078-9988 (中台)

身近な里山に手を入れる

# 四街道里山の会



- (左) 作業は集中して
- (中央) きれいな里山にするために地道な作業が続きます
- (右) 竹の伐採



四街道市市民農林業大学（林業の部）を平成二十二年度に終了した仲間が集まって、旭ヶ丘第二グリーンタウンの北側の雑木林を整備するために、千葉県と「千葉里山の保全、整備及び活用の促進に関する条例」に基づく協定を平成二十三年四月に締結し認定され、「四街道里山の会」を立ち上げました。

初年度の事業は旭ヶ丘第二グリーンタウンの北側の雑木林の整備をすることでした。現在はほぼ整備を終えました。初めは雑木の中に入るのもできない状態でしたが、きれいに下草を刈ったり、大きい木の下枝を伐採し、明るい気持ちのいい場所になり、下草に隠れていた水仙などの草花も見られるようになりました。

見通しの良いきれいな場所になったにもかかわらず大型のごみが捨ててあったりするので、気持ちの良い場所になるようにと現在もゴミ掃除等しながら維持管理に努めています。

旭ヶ丘第二グリーンタウンの北側の整備が一段落したので、現在は、鹿渡第六公園で遊ぶ子ども達に竹が倒れて来ないようにと公園に隣接する竹林の伐採、整備を行っています。

※活動場所については最終ページの活動地図参照

## 【一緒に活動しませんか？】

身近な里山を守る活動に参加しませんか？詳しくは問合せ先までご連絡ください。

## 四街道里山の会

活動日 毎月第3土曜日（通年）第1土曜日（4-11月）  
場所 四街道市鹿渡木戸場の一部の地域  
問合せ ☎ 043-421-3063（熊捕）



## 団体の活動をサポートし、四街道で活動する人と一緒に地域をデザインします

### 利用案内

#### 利用時間

火曜日～金曜日 9:00～20:30  
土曜日 9:00～17:00

#### 休館日

日・月・祝日・年末年始  
(月曜日祝日の場合は翌日火曜日休館)

#### 所在地

千葉県四街道市大日396  
四街道市文化センター1階

#### 連絡先

TEL 043-304-7065  
FAX 043-422-7051  
Email info@minnade.org  
ホームページ <http://minnade.org>

### 利用できるサービス

- 地域づくりに関する相談に常駐のコーディネーターがお答えします。
- みんなのテーブル（ミーティングテーブル）が無料で利用できます。12名程度
- 団体の会報、チラシを置くことができます。
- 地域づくり、まちづくりに関する資料や書籍が閲覧できます

### 【お詫びと訂正】

創刊号7ページに誤りがありましたので訂正しお詫びいたします。

●「四街道市レクリエーション協会」説明と開催日時訂正後の文章

放課後こども教室「あそびの城」は子どもたちにあそびのメニューを提供し、楽しく体験させる事業です。子どもたちと一緒にあそび、見守るスタッフを募集しています。

毎月第2第4木曜日 15:00～17:30

●「ボーイスカウト四街道第1団」

連絡先名

誤) サワダ 正) サワムラ

次号予告 2014年6月

[特集]福祉施設紹介・販売フェア「大きなテーブル」

みんなで地域づくりセンターは、地域づくり、まちづくりに関するさまざまな情報を広く集め発信し、団体と市民、行政機関をつなぎ市民みんなが関わる地域づくりを推進します。

「どんな街なら住みやすい？」

「地域の課題を解決するヒントは？」

自分の街のことを自分のこととして捉え、地域の問題や活動に関心のある方、どうぞ気軽にお立ち寄りください。

NPO・ボランティア団体はもちろん区・自治会、商・工・農業者、学校、文化サークル、スポーツ団体など、地域活動に関わっている市民、団体の情報を収集し提供します。

\*みんなで地域づくりセンターは四街道市政策推進課の分室として2010年9月1日に開設されました。

センターでは地域の力を活かしながら、子どもからシニアまで、みんなが元気になる地域づくりを応援します。

そのために主に4つのことに取り組んでいます。ひとつは四街道で活動する人同士が、連携したり情報交換できるようにコーディネートします。次に、すでに活動をしている方や団体にヒアリングをし、様々な相談に応じます。また、四街道でどんな取り組みがされているのか情報を集め、発信し市民の皆さんが利用できるように提供します。そしてセンター内のみんなのテーブル（ミーティングスペース）を貸し出したり、また団体活動に役立つセミナーを開催し、団体の活動を応援しています。

### 活動場所 案内図

